



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 中外鉱業株式会社

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 芳賀 一利

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長

(氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	16,277	118.9	△148	—	△176	—	△278	—
27年3月期第2四半期	7,437	△6.0	△232	—	△290	—	△300	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △188百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △303百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△0.96	—
27年3月期第2四半期	△1.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	7,861	6,881	87.4	23.72
27年3月期	8,205	7,153	87.1	24.66

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 6,871百万円 27年3月期 7,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,700	57.1	400	—	330	—	160	—	0.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	289,747,982 株	27年3月期	289,747,982 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	95,282 株	27年3月期	94,119 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	289,653,018 株	27年3月期2Q	289,655,777 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和策を背景に企業収益の改善等、景気は緩やかな回復基調が続いたものの、海外景気においては、中国経済の減速及びギリシャの債務問題等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、4月半ば以降、米国利上げ時期の予測が後退したこと等を要因に緩やかに上昇したものの、需要の減退懸念やドル高等を背景に総じて軟調に推移いたしました。プラチナ価格は、中国経済の減退及び中国株安を背景とした需要減少が懸念され軟調に推移いたしました。宝飾市況においては、個人消費の本格的な回復が見込めず、依然厳しい環境のもと推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税等の経済政策や低金利の継続等、富裕層を中心に住宅購買意欲は回復基調で推移いたしました。機械市況において、内需は、政府による設備導入補助金等の投資促進策の影響から6、7月の受注環境は堅調に推移したものの、その後は、補助金による受注の反動減により伸び悩んだこと等から、厳しい状況の下推移いたしました。外需は、中国市場の需要減少に加え、北米市場の不振等、厳しい状況の下推移いたしました。

この結果、当第2四半期の売上高は16,277,641千円(前年同四半期7,437,522千円)、営業損益は148,440千円の損失(前年同四半期232,902千円の損失)、経常損益は176,358千円の損失(前年同四半期290,618千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損益は278,911千円の損失(前年同四半期300,067千円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は14,260,426千円(前年同四半期5,634,906千円)、営業損益は29,370千円の損失(前年同四半期40,600千円の利益)となりました。

宝飾事業におきましては、売上高は937,461千円(前年同四半期723,642千円)、営業損益は9,917千円の損失(前年同四半期50,781千円の損失)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は151,333千円(前年同四半期202,197千円)、営業損益は8,476千円の損失(前年同四半期4,453千円の損失)となりました。

機械事業におきましては、売上高は745,401千円(前年同四半期871,442千円)、営業損益は73,376千円の損失(前年同四半期29,355千円の利益)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は158,555千円の利益(前年同四半期13,020千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より343,848千円減少し、当第2四半期末は、7,861,268千円となりました。

増加の主なものは、仕掛品の増加(177,287千円から265,582千円へ88,295千円の増加)であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(1,176,815千円から924,876千円へ251,939千円の減少)であります。

当第2四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より71,827千円減少し、当第2四半期末は、979,406千円となりました。

減少の主なものは、長期借入金の減少(528,660千円から458,820千円へ69,840千円の減少)であります。

当第2四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より272,020千円減少し、当第2四半期末は、6,881,862千円となりました。

減少の主なものは、利益剰余金の減少(△5,600,083千円から△5,878,995千円へ278,911千円の減少)であります。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より251,939千円減少し、924,876千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は127,575千円(前年同四半期は600,482千円の使用)となりました。これは主に預け金の減少額182,567千円があったものの、税金等調整前四半期純損失188,795千円及びたな卸資産の増加額161,561千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は28,951千円(前年同四半期は456千円の獲得)となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入35,234千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は153,314千円(前年同四半期は69,879千円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出69,840千円及び非支配株主への分配による支出83,440千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の業績予想につきましては、現時点では平成27年5月15日付決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

「企業結合に関する会計基準」等の適用については、「企業結合に関する会計基準」第58 - 2項(4)、「連結財務諸表に関する会計基準」第44 - 5項(4)及び「事業分離等に関する会計基準」第57 - 4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,176,815	924,876
売掛金	57,310	36,187
商品及び製品	1,167,293	1,228,135
仕掛品	177,287	265,582
原材料及び貯蔵品	7,670	23,501
販売用不動産	129,808	126,402
仕掛不動産	329,518	329,518
預け金	1,759,811	1,577,244
その他	38,245	46,652
流動資産合計	4,843,762	4,558,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,391,685	1,393,818
減価償却累計額	△499,774	△534,376
建物及び構築物(純額)	891,911	859,441
機械装置及び運搬具	526,392	520,298
減価償却累計額	△436,921	△411,586
機械装置及び運搬具(純額)	89,470	108,711
土地	1,691,391	1,691,391
その他	111,885	112,385
減価償却累計額	△100,011	△100,823
その他(純額)	11,873	11,561
有形固定資産合計	2,684,645	2,671,106
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	8,002	7,395
無形固定資産合計	373,002	372,395
投資その他の資産		
投資有価証券	142,319	101,946
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	140,259	136,591
その他	11,923	11,923
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	303,706	259,666
固定資産合計	3,361,355	3,303,168
資産合計	8,205,117	7,861,268

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,435	30,771
1年内返済予定の長期借入金	139,680	139,680
未払金	41,036	32,388
未払法人税等	37,169	23,411
その他	45,708	30,385
流動負債合計	282,030	256,637
固定負債		
長期借入金	528,660	458,820
長期未払金	—	23,226
金属鉱業等鉱害防止引当金	7,033	7,033
預り敷金保証金	22,063	22,012
繰延税金負債	25,979	24,108
資産除去債務	185,467	187,568
固定負債合計	769,203	722,768
負債合計	1,051,233	979,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	△5,600,083	△5,878,995
自己株式	△31,119	△31,153
株主資本合計	7,150,861	6,871,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,928	—
その他の包括利益累計額合計	△6,928	—
非支配株主持分	9,950	9,947
純資産合計	7,153,883	6,881,862
負債純資産合計	8,205,117	7,861,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	7,437,522	16,277,641
売上原価	6,937,096	15,719,167
売上総利益	500,425	558,474
販売費及び一般管理費	733,327	706,914
営業損失(△)	△232,902	△148,440
営業外収益		
受取利息	103	76
国庫補助金収入	20,138	9,770
保険金収入	1,119	6,763
その他	2,581	3,391
営業外収益合計	23,942	20,002
営業外費用		
支払利息	6,294	5,141
休山管理費	70,859	37,498
その他	4,504	5,280
営業外費用合計	81,659	47,920
経常損失(△)	△290,618	△176,358
特別利益		
固定資産売却益	—	148
特別利益合計	—	148
特別損失		
固定資産売却損	—	519
投資有価証券売却損	—	12,066
固定資産除却損	963	0
特別損失合計	963	12,585
税金等調整前四半期純損失(△)	△291,582	△188,795
法人税、住民税及び事業税	11,036	8,549
法人税等調整額	△2,504	△1,870
法人税等合計	8,531	6,678
四半期純損失(△)	△300,113	△195,474
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△46	83,437
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△300,067	△278,911

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△300,113	△195,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,626	6,928
その他の包括利益合計	△3,626	6,928
四半期包括利益	△303,740	△188,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△303,693	△271,983
非支配株主に係る四半期包括利益	△46	83,437

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△291,582	△188,795
減価償却費	47,418	47,211
受取利息及び受取配当金	△253	△76
支払利息	6,294	5,141
補助金収入	△20,138	△9,770
保険金収入	△1,119	△8,053
有形固定資産売却損益(△は益)	—	371
有形固定資産除却損	963	0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	12,066
売上債権の増減額(△は増加)	△8,584	21,123
たな卸資産の増減額(△は増加)	△328,309	△161,561
仮払金の増減額(△は増加)	△1,776	△200
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,814	12,336
未払金の増減額(△は減少)	△27,384	△10,825
預け金の増減額(△は増加)	715	182,567
その他	29,356	△19,573
小計	△601,213	△118,040
利息及び配当金の受取額	253	94
利息の支払額	△6,294	△5,141
補助金の受取額	20,138	9,770
保険金の受取額	1,119	8,053
法人税等の支払額	△14,485	△22,311
営業活動によるキャッシュ・フロー	△600,482	△127,575
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,775	△9,716
有形固定資産の売却による収入	—	277
無形固定資産の取得による支出	△2,330	—
敷金及び保証金の差入による支出	△63	△880
敷金及び保証金の回収による収入	7,626	4,035
投資有価証券の売却による収入	—	35,234
投資活動によるキャッシュ・フロー	456	28,951
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△69,840	△69,840
自己株式の取得による支出	△39	△34
非支配株主への分配による支出	—	△83,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,879	△153,314
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△669,904	△251,939
現金及び現金同等物の期首残高	1,646,555	1,176,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	976,650	924,876

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業	研究開発		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	5,634,906	723,642	194,182	871,442	—	5,180	8,168	7,437,522
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	8,015	—	—	—	—	8,015
計	5,634,906	723,642	202,197	871,442	—	5,180	8,168	7,445,537
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	40,600	△50,781	△4,453	29,355	△13,020	△40,116	△10,183	△48,598

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	7,437,522
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△8,015	—
計	△8,015	7,437,522
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	△184,303	△232,902

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企画開発関連を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△184,303千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△184,303千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業	研究開発		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	14,260,426	937,461	143,318	745,401	172,906	—	18,127	16,277,641
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	8,015	—	—	—	—	8,015
計	14,260,426	937,461	151,333	745,401	172,906	—	18,127	16,285,656
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△29,370	△9,917	△8,476	△73,376	158,555	—	831	38,245

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	16,277,641
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	△8,015	—
計	△8,015	16,277,641
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△186,686	△148,440

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業、太陽光発電による売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△186,686千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△186,686千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。